

■中国：山東省、水素エネルギー産業振興に関する中長期計画を発表

山東省政府は2020年6月24日、「山東省水素エネルギー産業中長期計画(2020～2030年)」を発表し、水素産業の振興に乗り出した。当該計画は2018年末から中国の技術開発における最高機関である中国工程院や、政府の各部門、業界が検討を重ねてきた内容である。この計画における目標は達成年度別に3段階に分けられており、(1) 2022年まで：水素研究開発体制の構築、コアとなる技術開発、(2) 2025年まで：水素の生産、貯蔵、輸送、気化技術および関連施設ネットワークの建設と商業的利用の実現、(3) 2030年まで：水素産業の規模、質、効率の面での世界トップ水準の達成、が挙げられているほか、コア技術を持つ複数の大企業の育成、水素産業に情報技術を加えた新しいスマートエコシステムの確立も目指すとしている。なお、山東省では現在、水素ステーションが6カ所設置されており、4市で水素バス(242台)が商用運行されている。